

海外移住先として人気上昇のベトナム

最近、ベトナムが定年退職後の移住先として欧米人の注目を集めています。ヨーロッパ系の雑誌社によると、夫婦の生活費が月 1,000 ドル以下で暮らせる国として初めてベトナムが上位にランクされました。

今までは、パナマ、ポルトガル、コスタリカといったラテン諸国が人気を集めていましたが、最近ではベトナムのビーチリゾートが、コストパフォーマンスの良さで人気急上昇中です。

ホイアン



具体的には、クアダイ・ビーチ（ホイアン）、ニャチャン・ビーチ（カインホア省）、ロング・ビーチ（フーコック島、キエンザン省）が人気のトップ3です。

日本では、フィリピン（セブ島）、タイ（チェンマイ）、台湾、オーストラリ

ア、ハワイ、スリランカなどが、海外移住先として高い人気があります。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

ニャチャン



しかし、①人々が親日的、②治安が良い、③仏教国、④食事が日本人の口に合う、⑤生活費が他のASEAN 諸国と比べても安い、などの要素を考慮すると、これからは定年後にベトナムでの悠々自適な第2の人生を考える日本人が増えるでしょう。

フーコック島



写真：ヴィパールリゾート&スパのHP から

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。